

“THE シガパーク” の 一体的な推進について

滋賀県

1

“THEシガパーク” の取組について

【目指す“THEシガパーク”の姿】

びわ湖を中心とした滋賀県全体が一つの大きな公園であるかのように、すべての人の憩い・交流・体験の場となり、子どもたちが美しい自然の中で遊び、学ぶことができる場となる、「水と緑と人につながるしがの公園“THEシガパーク”」を実現し、世界一の公園を目指す。

【“THEシガパーク”推進会議の設置】

「滋賀県を世界に誇れる公園県にする」ことをパーパスに、滋賀県が管理する公園が持つ潜在的な魅力を、種別や所管を超えた公園間の連携により再発見・向上させていくとともに、部局横断的な連携により全庁が一丸となって連携・協力し、効果的・魅力的な情報発信・事業実施を行う。

【魅力アップのための三つの取組】

- ①部局を横断した公園連携・庁内連携の取組 **Team Up!**
- ②拠点的な公園の機能強化と利便性の向上 **Level Up!**
- ③市町・民間事業者・住民等と協働した取組 **Tie Up!**

局・課名	主な公園
文化芸術振興課	希望が丘文化公園
スポーツ課	彦根総合スポーツ公園
下水道課	矢橋帰帆島公園
森林政策課	近江富士花緑公園
自然環境保全課	自然公園(湖岸園地など)
子ども・青少年局	びわ湖こどもの国
モノづくり振興課	陶芸の森
都市計画課(事務局)	都市公園(びわこ文化公園、湖岸緑地など)



2

「THE シガパーク」 2030年に目指す姿

○「THE シガパーク」 2030年の姿について

・県の基本構想やSDGs,MLGs,30by30などの目標年度でもある2030年を一つの区切りとして、「THE シガパーク」が以下のような姿を実現していることを目指す。

滋賀県全体が一つの大きな公園であるかのように**水・緑・人**でつながっており、県民をはじめとした滋賀県に生きる**すべての生き物の暮らしと心を豊かに**している。

○目指す姿を実現するための3つの視点と3つの取組

1. 【美】 「うつくシガパーク」

滋賀の恵まれた自然を活かした**景観の美しさ**をはじめ、トイレなどの**公園施設の美しさ**、利用者の**美しい利用マナー**の推進など、「美しい公園」を目指します。

2. 【優】 「やさシガパーク」

子どもから高齢者、障がい者や外国人を含めた**誰もが利用しやすく**、人間だけでなく動物をはじめ鳥や虫、草花などの生き物を含めた**自然も大切に**する、「優しい公園」を目指します。

3. 【楽】 「たのシガパーク」

訪れただけで**気持ちが楽**になり、シガパークでしか見れないもの、体験できないことが充実していて、**楽しい時間をたっぷり過ごす**ことができる、「楽しい公園」を目指します。



【魅力アップのための三つの取組】

①部局を横断した公園連携・庁内連携の取組

Team Up!

②拠点的な公園の機能強化と利便性の向上

Level Up!

③市町・民間事業者・住民等と協働した取組

Tie Up!

★3つの視点で3つの魅力アップの取組を進め、「THE シガパーク」の目指す姿の実現を目指す！

“THE シガパーク”の今後の展開（案）

県では、今年度中に**2030年までの方向性を示すロードマップ**を作成する予定。**滋賀県全体が一つの大きな公園**となるよう、**市町との連携**にも順次取り組んでいきたい。

【今年度取り組んでいる内容】

- ・“THEシガパーク”の共通ホームページを作成
- ・びわ湖の日に合わせてイベントを実施

【今後取り組んでいく内容】

Team Up!

- ・共通HPなどで“THEシガパーク”の魅力を情報発信
- ・びわ湖の日、ピワイチの日に合わせてイベントを実施
- ・シガリズム、しが結、ピワテクなどと連携した取組
- ・統一のロゴマークによる案内

Level Up!

- ・大切な自然を守り・引き継ぐ取組
- ・誰もが快適に使えるトイレへの改善
- ・子どもが安心して遊び・学べる公園運営

Tie Up!

- ・民間の活力やノウハウの活用
- ・市町が管理する公園など近接する施設との連携
- ・住民やNPO等の活動の場としての公園の提供
- ・ネーミングライツ、企業版ふるさと納税などによる財源確保



